



金ヶ崎町・長春市 友好都市交流 35周年記念 公式訪問団派遣



1長春市職員との撮影 左から尹冬姣長春市外事弁公室日本処長、鈴木浩之団長、劉剛長春市人民政府副秘書長、伊藤雅章町議会議長、段華旭長春市外事弁公室副主任 2劉副秘書長から鈴木団長へ記念品の贈呈 3双陽区役所での鈴木団長による金ヶ崎のPR 4双陽区で熱烈的な歓迎を受ける 5香愛良野菜有機果実野菜農場の苺畑 6果物試食 7葉菜生産基地の概要図 8岩手県大連事務所職員との撮影 左から高橋農林課長補佐、于慶所員、伊藤議長、鈴木団長、禹瑾所長



長春市、大連市の街並みや施設写真



1989年に友好都市締結した金ヶ崎町と長春市の交流35周年を記念し、10月22日から25日まで鈴木浩之副町長を団長に、伊藤雅章町議会議長、職員1名を公式訪問団として同市に派遣しました。

10月22日に同市を表敬訪問した際は、高橋寛寿金ヶ崎町長の親書を手渡し、劉剛長春市人民政府副秘書長、段華旭長春市外事弁公室副主任らと懇談。長春市からは、「金ヶ崎町との交流を大切に考えており、今後も交流を継続したい。交流40周年の際は、金ヶ崎町を訪問したい。」との話

がありました。金ヶ崎町と長春市双方で記念品を贈呈し、友好を深めました。

10月23日には、当町と産業構造が似た長春市双陽区を訪問し、区内の野菜農場、葉菜生産基地などを視察。その後、同区人民政府の王副区長らと懇談し、互いのまちのPRと意見交換を行いました。

10月24日には、大連市へ移動し、岩手県大連事務所を訪問。中国の産業状況や岩手県からの輸出状況など情報を頂きました。

中国長春市

中国吉林省の省都。人口約930万人、面積20,571km²(岩手県15,275km²)。自動車産業が盛んなほか、中国最大のトウモロコシと米の生産地として発展。また27の国立大学と100以上の化学研究機関がある教育文化都市である。



地域の皆さんと協力した雪対策を目指します

町は、町道の除雪を中心に、少しでも皆さんの生活に支障が出ないように除雪に努めているところですが、個人宅の除雪は個人で行うことが原則となっています。

一方で、近年では家族構成や勤務形態の変化、高齢化などにより、個人の力だけでは除雪作業が困難となる人が増加しています。

こうした中、少しでも地域の中で助け合いによる雪対策を進めるため、町による支援策などについて、お知らせします。

■補助金を活用できます

地域協働雪対策支援事業補助金

町では、自治会等が地域の高齢者宅等の除排雪を行う場合、除雪機の燃料費を支援する補助制度を設けています。

- 申請期間 11月29日(金)まで
- 対象団体 自治会または自治会の班の単位以上の任意組織
- 補助金額 上限3万円※燃料購入費のみ



▲詳細はこちら
(町ホームページ)

コミュニティ助成事業

地域で除雪機などを整備する場合、コミュニティ助成事業(宝くじ助成金)を活用することができます。

ゴミステーション周辺の除雪や、消火栓周辺の除雪など、地域での除雪作業に活用している地域もあります。

地域で除雪機等の購入を検討している場合は問い合わせください。

- 対象団体 自治会等
- 対象 除雪機(乗用は対象外)
- 助成額 上限250万円(助成割合100%)

※助成額は令和6年度のものです。

新たな助け合いの仕組みが必要です

すでに、隣近所の助け合いによる雪対策が行われている地域もありますが、そのような地域でも、高齢化や離農により、除雪機として活用していた農機具を手放す人が増えているなど、今後の雪対策への不安もあります。

このような中で、既存の仕組みだけでなく、地域の中で話し合いを重ねながら、さまざまな可能性を考え、地域と行政が協力していくことが重要になってきます。

問い合わせ先

- 町道の雪対策 ▶都市建設課 雪対策室(内線2273)
- 町道以外 ▶国道4号:岩手河川国道事務所 水沢国道維持出張所(☎24-2187)
▶県道・補助国道等:県南広域振興局 土木部(☎22-2881)
- 地域で行う雪対策 ▶中央生涯教育センター(☎44-3123)